

XEROX DPC3450d **トラブルマニュアル**

【注意事項】

■トナーまたはドラムカートリッジを交換する際は、プリンターの電源が入っている状態で行ってください。

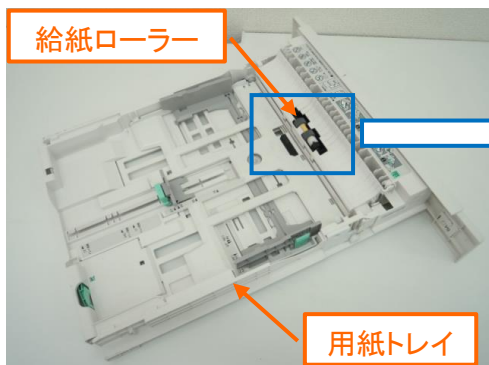
※不具合症状内の↑は印刷方向(排紙方向)を表しています。

不具合症状	推定原因	対処方法
モニター表示通りに印刷されない (線が消える、文字化け等)	プリンタードライバーが正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタードライバーを再インストールしてください。
用紙にシワ、濃度が薄い	用紙が湿気を含んでいる、または波打ったり、反っている(カールしている)可能性があります。	新しい用紙に交換してお試しください。
紙詰まり全般	用紙が湿気を含んでいる、または波打ったり、反っている(カールしている)可能性があります。	新しい用紙に交換してお試しください。それでも改善しない場合は、以下の用紙詰まり箇所別の対処方法をお試しください。
用紙トレイ付近での紙詰まり	使用できない用紙を使用している可能性があります。	ユーザーズガイドなどを参考に使用可能な用紙をご使用ください。
	用紙トレイ付近の給紙ローラーや分離パッド、用紙搬送経路に異常(部品の劣化・紙粉や汚れの付着)が発生している可能性があります。	プリンターの電源をOFFにしてから給紙ローラーや分離パッド(別紙①)を固く絞ったきれいな雑巾などで清掃してください。
定着器・排紙部付近での紙詰まり	指定した用紙サイズと実際の用紙サイズが異なっている可能性があります。	指定した用紙サイズと実際の用紙サイズが一致しているかご確認ください。
両面印刷時に紙詰まりする	使用できない用紙を使用している可能性があります(特に60g/m ² 未満の薄い用紙の場合は紙詰まりが発生しやすくなります)。	ユーザーズガイドなどを参考に使用可能な用紙をご使用ください。
文字や画像が2重に印刷される 	プリンターや用紙が冷えている可能性があります。	前回の印刷から時間が経過している場合(特に朝のご使用開始直後など)は、印刷を継続することでプリンターや用紙が温まり改善する可能性があります。
スジ状または帯状のカスレ 	プリンターの光路(レーザー)部が汚れている可能性があります。	別紙②の対処方法をお試しください。
	現像機に異物が噛みこんでいる可能性があります。	
スジ状または帯状の汚れ 	ドラムカートリッジに異常が発生している可能性があります。	ドラムカートリッジを交換してください。(別紙①参照)
等間隔の汚れまたは点汚れ 	汚れや点汚れが約38mmや94mm間隔で発生している場合はドラムカートリッジに異常が発生している可能性があります。	ドラムカートリッジを交換してください。(別紙①参照)
トナーがある(入っている)のに「トナー交換」表示が出る	トナーが適切に補給されていない可能性があります。	トナーで汚れない様に新聞紙等を敷いてからトナーカートリッジを取り出し、その上で軽く振ってから再装着してください。

XEROX DPC3450d トラブルマニュアル 別紙①

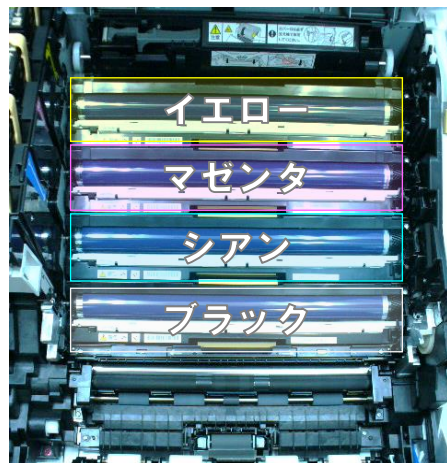
■ 紙詰まり

下記にて紙詰まりの位置を確認し、トラブルマニュアルと照らし合わせてください。

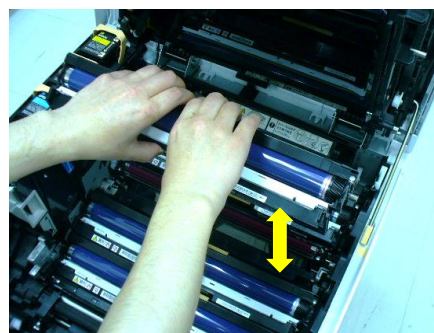


■ ドラムカートリッジ交換時のご注意

- ① 交換する色のカートリッジを両手で持ち、左右平行に静かに持ち上げて取り出してください。
- ② 新しいカートリッジを水平な台の上に置き、保護シートを外してください。
- ③ 新しいカートリッジを両手で持ち左右の溝に合わせて平行に挿入して取り付けてください。



- 【注意】**
- ◎ ドラム(紫色の筒の部分)の表面に手で触れたり、傷を付けないようにしてください。
 - ◎ 直射日光や強い光(室内の照明下でも5分以上)に当てないでください。
 - ◎ 左右が斜めの状態で脱着すると、プリンタ内部右側面のカートリッジとの接触端子が破損・変形する恐れがあります。



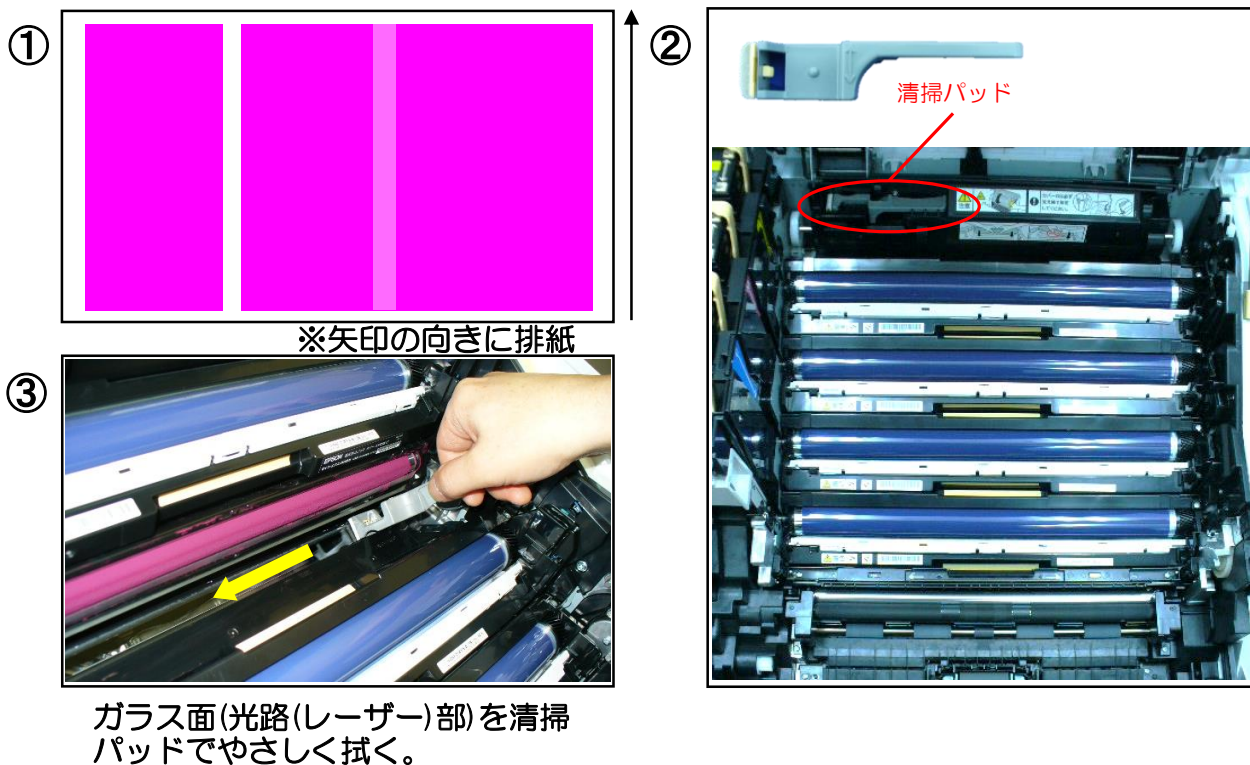
XEROX DPC3450d トラブルマニュアル 別紙②

印刷物に下図①（マゼンタ例）のようなスジ状のカスレや白抜け、印字ムラなどが発生した場合、プリンターの光路（レーザー）部が汚れている、または現像機に異物が噛み込んでいる恐れがあります。

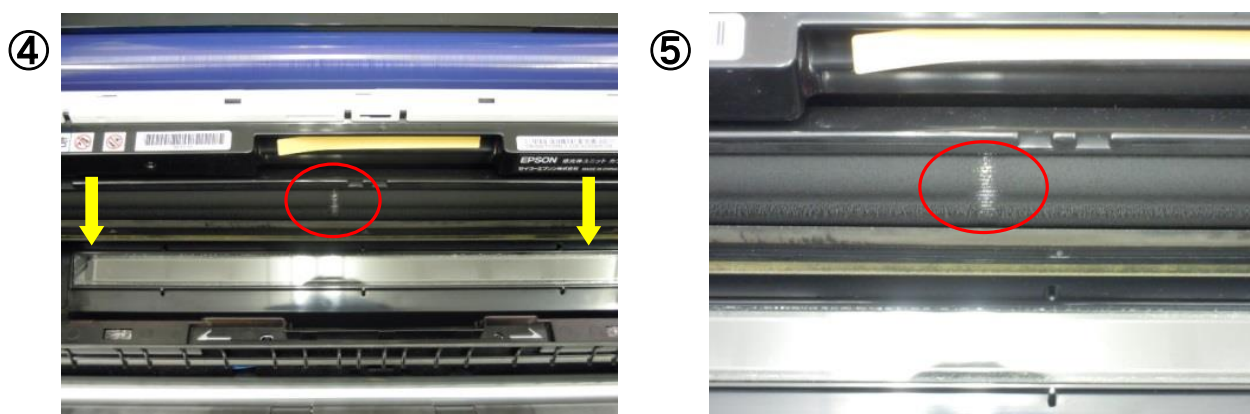
【光路（レーザー）部汚れ】の場合は、下図②、③を参考にガラス面（光路（レーザー）部）を清掃パッドでやさしく拭いてください。

【現像機への異物噛み込み】の場合は、下図④、⑤を参考に現像ローラーを手前側に回転（逆回転）させることで、異物の噛み込みを解消できる可能性があります。

■ プリンターの光路（レーザー）部が汚れている場合



■ 現像機に異物が噛み込んでいる場合



現像ローラー表面に上図④、⑤のようなスジ状の抜けがみられる場合は、現像ローラー両端の銀色の部分を親指で押さえながら手前側に回転させることで、異物の噛み込みを解消できる可能性があります。